

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	①	アセスメント・カンファレンス・利用者様家族様との会話等から、生活の意向・希望を確認し施設サービス計画書に挙げられるよう努めているが、そういった計画書ではなく利用者様が出来ないことを補う計画書になっているものがある。	利用者様の生きがい・役割・楽しみとなるようなことを、施設サービス計画書に取り入れていく。	日常の些細なこと・単純作業的なことでも利用者様の生きがい・役割・楽しみとなるようなことであれば、施設サービス計画書に取り入れていく。	12ヶ月
2	②	重度化や終末期については出来る限り施設で対応しているが、状況によりご家族・協力医と相談・連携して医療機関で対応している。であるので利用者様が重度化や終末期となった時に知識や経験の少ない職員がいる。	重度化や終末期のケアについて、研修を行い知識・技術を得てご利用者支援に活かしたい。	重度化や終末期ケアについて、年間で2回は経験のある介護士や看護師による研修や可能な場合外部講師を招いての研修を行い、ご利用者支援に活かしたい。	12ヶ月
3	③	災害対策については年間2回は避難訓練を行い物資も準備しているが、地域との協力体制については未確認なこともある。	運営推進会議で災害対策について議題を挙げ協議したい。	災害があった場合の連絡体制や施設建物や敷地の活用について話したい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。